



# ハンフリー

## ハンフリーフィールドアナライザー HFA III

戸塚駅前鈴木眼科 マニュアル

# 既存

## 1.ID検索する

## 2.氏名、生年月日、 遠用度数の確認

## 3.モード合っているか 確認

患者 > 検査 > 結果

3105196

姓 名

性別 ID 生年月日

本日 1

1959/3/25

	球面度数	乱視度数	軸度
遠用度数	OD		
	OS		
試用レンズ	OD		
	OS		

検査

検査プロファイル 30-2 SITA Standard Fovea

検査施行 両眼 開始 OD

検査パラメータ 中心 30-2, SITA Standard

レポート 検査 次に進む

すべて 1

視力検査で測定した値を入れる  
(時間ない時は入力せずに  
自身で計算してそのままレンズ  
入れることも可能)

# モードの確認

基本：30-2 SITA Standard Fovea

30-2 SITA-Standard  
24-2 SITA-Fast  
10-2 SITA-Fast

(前回の検査モードになっているので気をつける)



# 視野検査の説明

「検査の仕方は覚えていますか」  
覚えてなければ説明する。

瞬きはして大丈夫です。  
検査は片目だいたい5～10分くらいです。

視野とは、1点を見ている時に周りがどのくらい見えているかという検査なので検査中は必ず中心のオレンジの光を見てもらいます。

目線を逸らしてしまうと検査できなくなってしまうので必ず中心のオレンジの光を見ていて下さい。

1. レンズを入れる
2. ボタンを持ってもらう
3. 片目をガーゼで隠す

検者側が必ず行うこと

・ 顎台にお顔を乗せてもらい、  
中心のオレンジの光をみてもらう

右眼：左側（青い方）の窪み  
左眼：右側（白い方）の窪み

・ 目の位置と機械の高さを合わせる

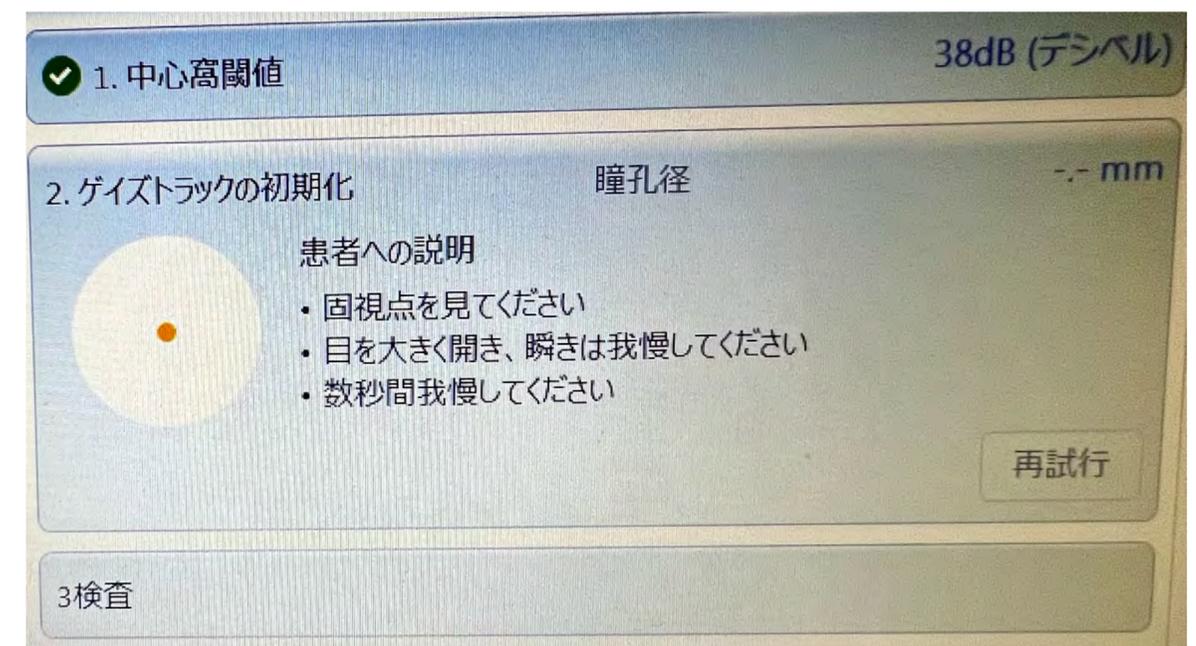
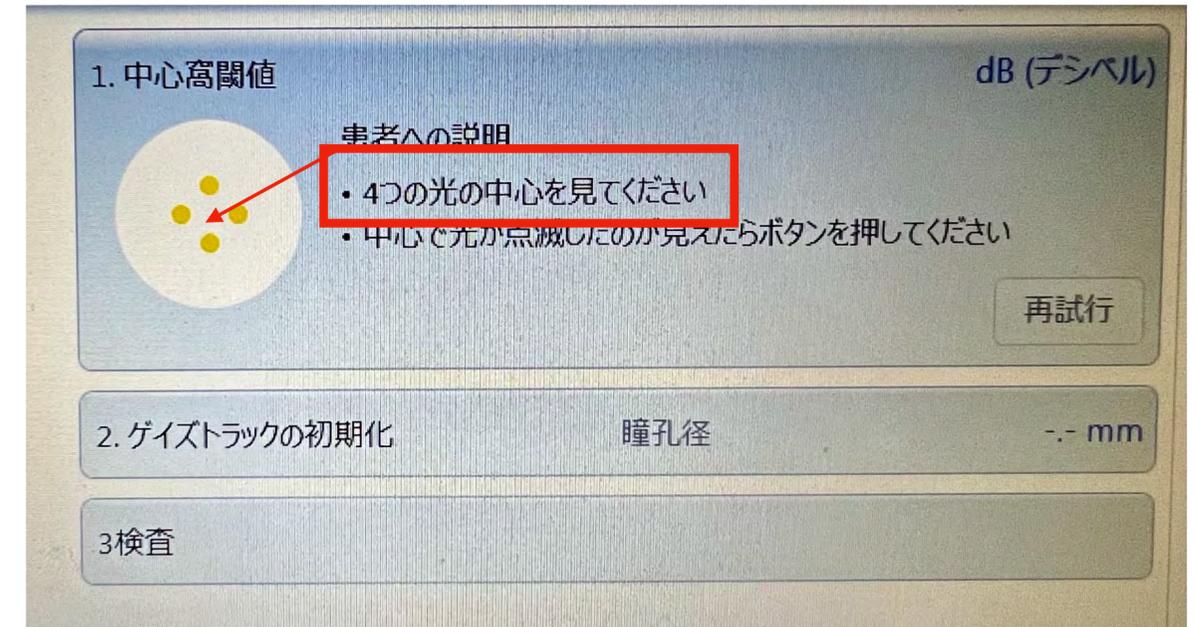
・ 目線を下の4つの光の真ん中をみてもらう

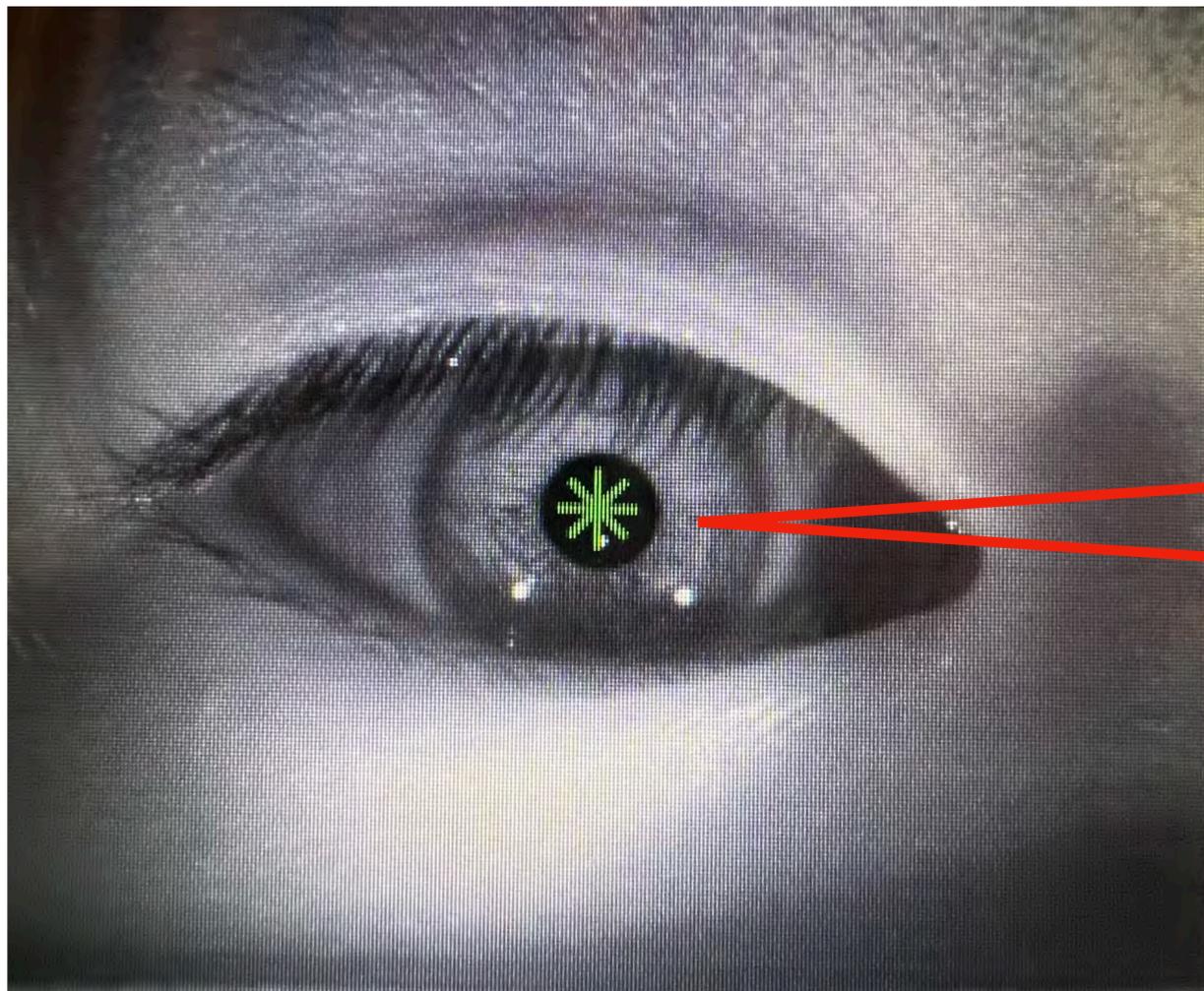
目線が動いたか確認

・ 薄かったり濃い光が次々に出てくるのでその都度ボタンを押してもらうことを伝える

・ また目線を中心のオレンジの光に戻してもらう

画面を見ながら  
目線が戻ったか確認





顎台と台の高さを合わせながら、  
米印になる位置に調整する。

・ 瞳孔の大きさを測るので数秒瞬き我慢してもらおう

「では、検査を開始します。」

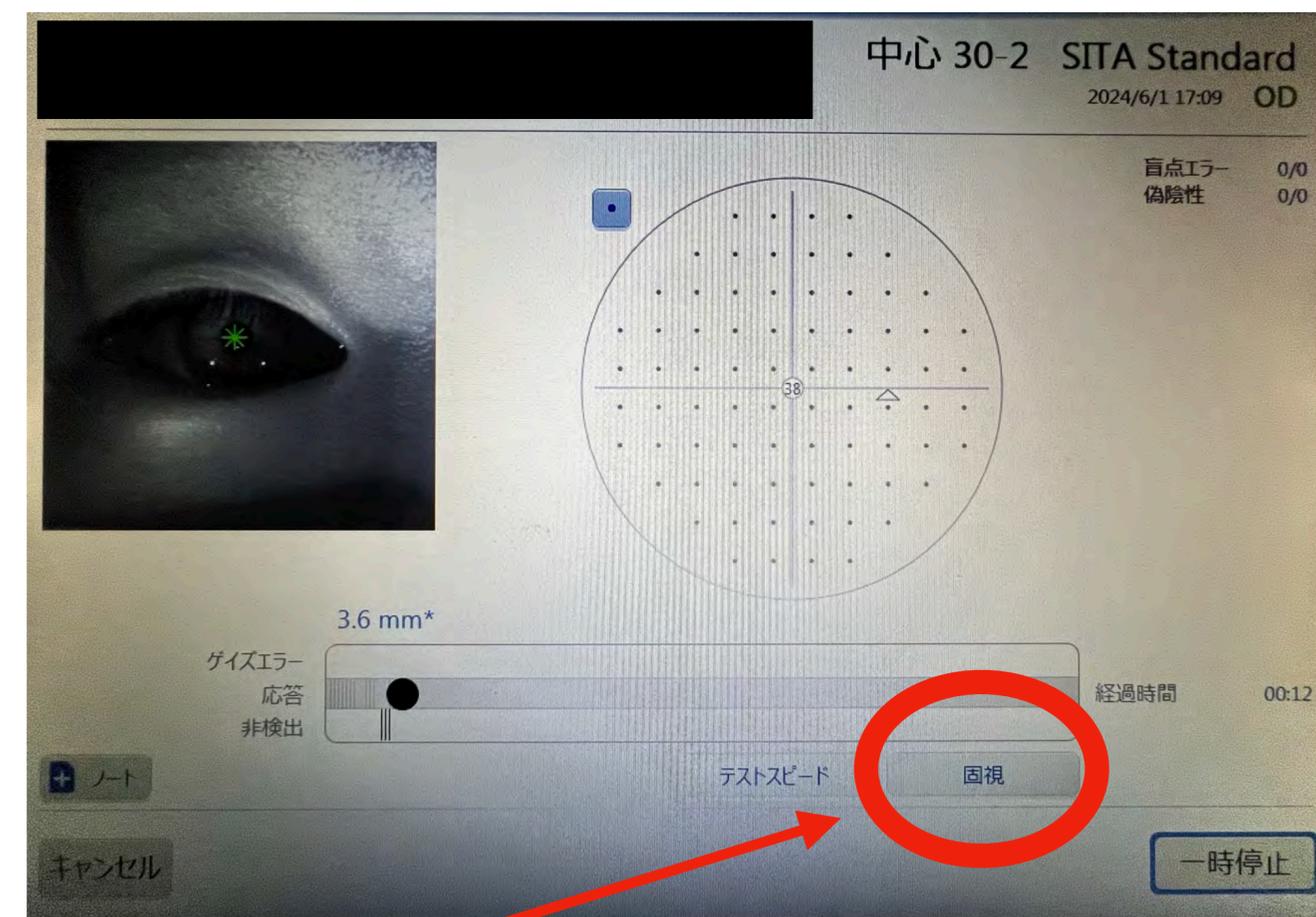
## 他眼も同様に行う

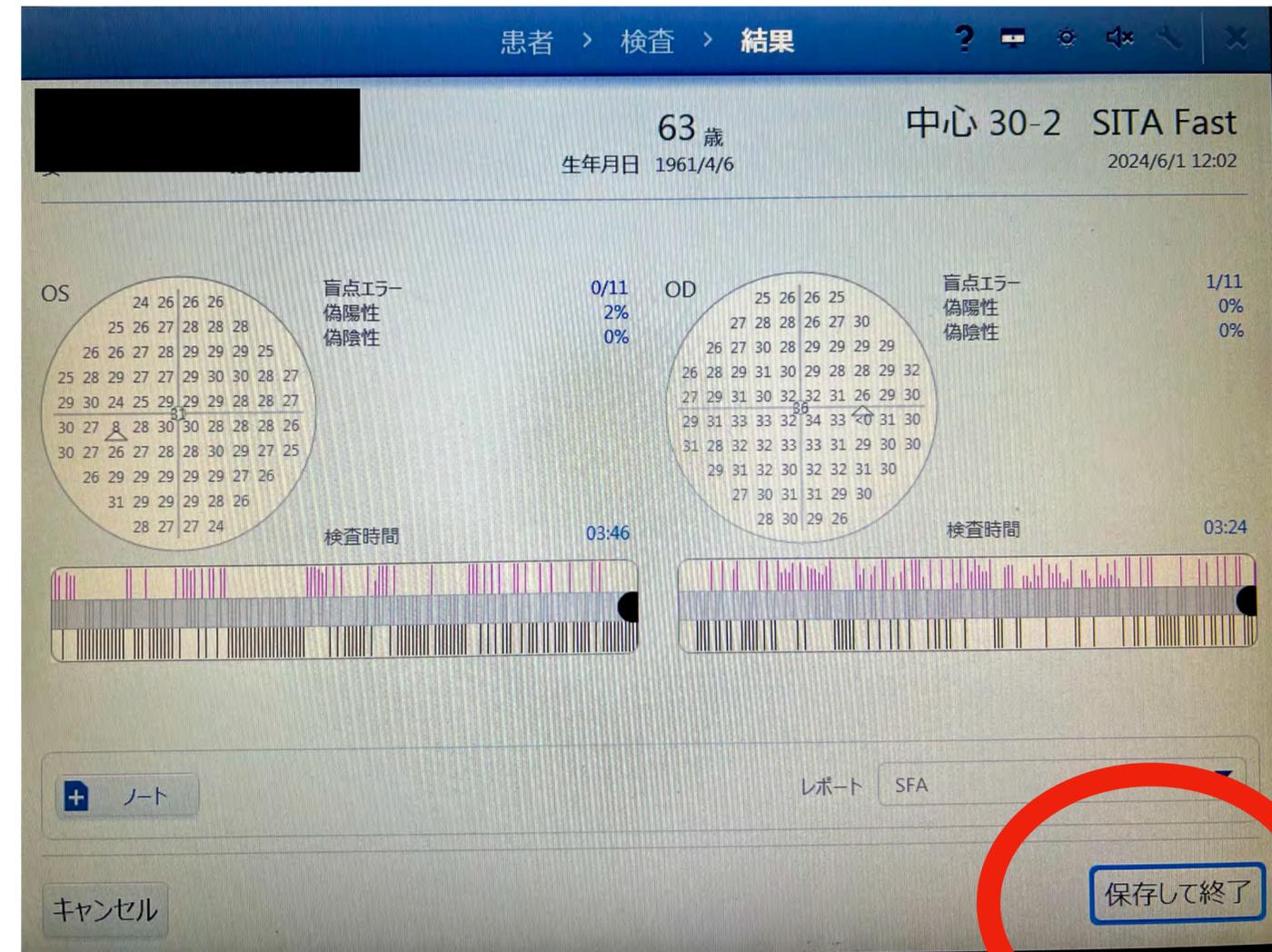
- 他眼にガーゼをかえる
- レンズを変える
- 姿勢が問題なかったか確認する
- お顔を逆側の窪みに乗せてもらう

・ 検査中は目線が動いていないか、  
おでこと顎がしっかりとのっているか  
都度確認して下さい。

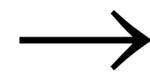
・ 正しい結果には基本の姿勢がとて  
も大切です。

・ マ盲点がうまく行かない場合は、  
検査中にマ盲点のチェックをして下  
さい。





結果を表示



保存して終了

# 新規

1.性、名  
を大文字カナでそれぞれ入力する

当日初めて新規で入力する場合、  
画像の順番で押せば大文字カナになる

2.性別選ぶ

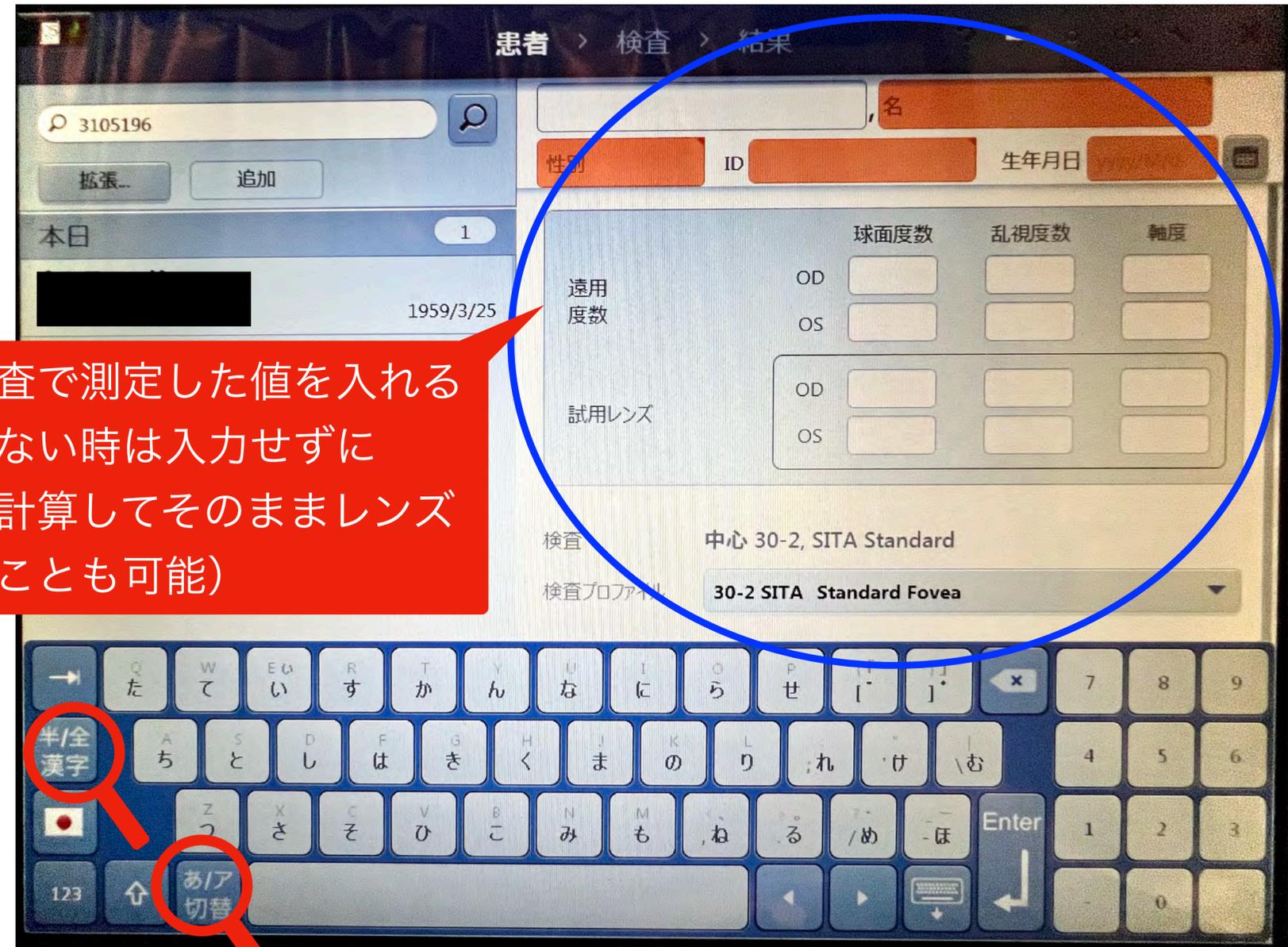
3.ID

4.生年月日

19970805の場合

→ (1997/8/5) 0は省く

5.モードの確認(既存同様)



1

2

# 視野検査の説明

視野とは、1点を見ている時に周りがどのくらい見えているかという検査なので検査中は必ず中心のオレンジの光を見てもらいます。

目線を逸らしてしまうと検査できなくなってしまうので必ず中心のオレンジの光を見ていて下さい。

瞬きはして大丈夫です。

検査は片目だいたい5～10分くらいです。

1. レンズを入れる
2. ボタンを持ってもらう
3. 片目をガーゼで隠す

検者側が必ず行うこと

・ 顎台にお顔を乗せてもらい、  
中心のオレンジの光をみてもらう

右眼：左側（青い方）の窪み  
左眼：右側（白い方）の窪み

・ 目の位置と機械の高さを合わせる

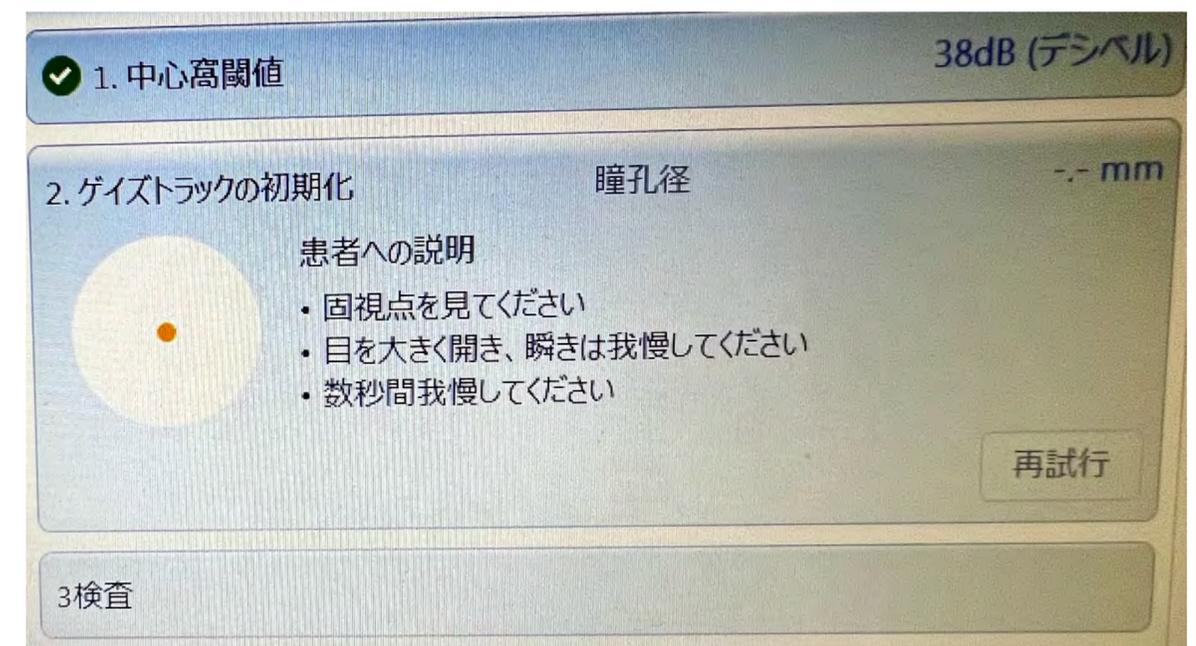
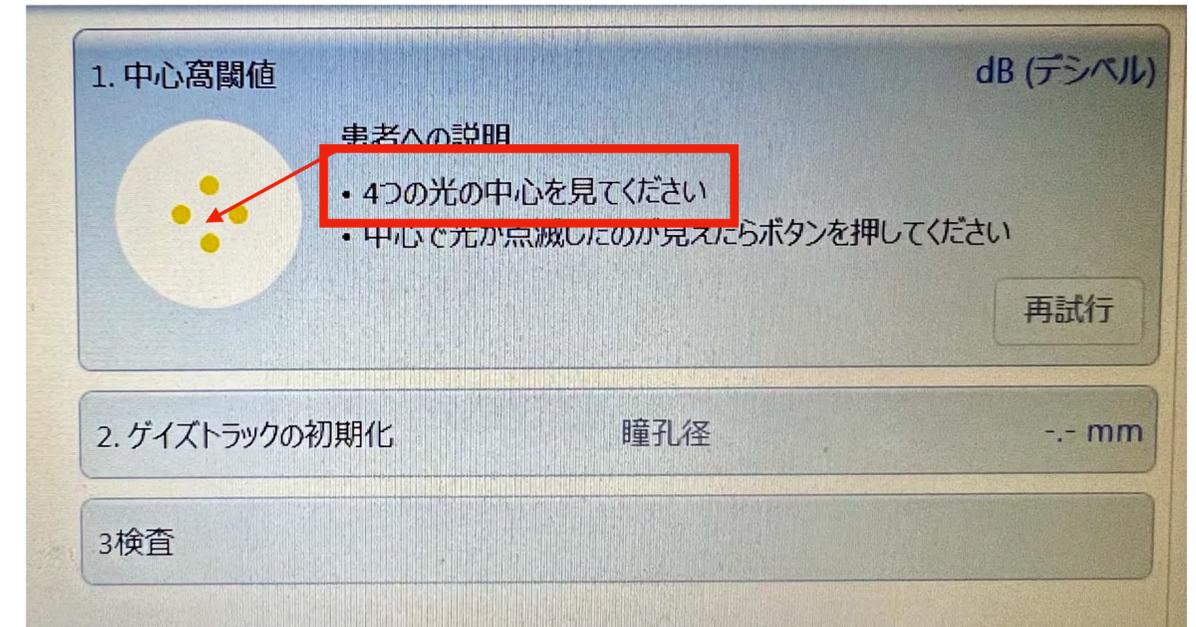
・ 目線を下の4つの光の真ん中をみてもらう

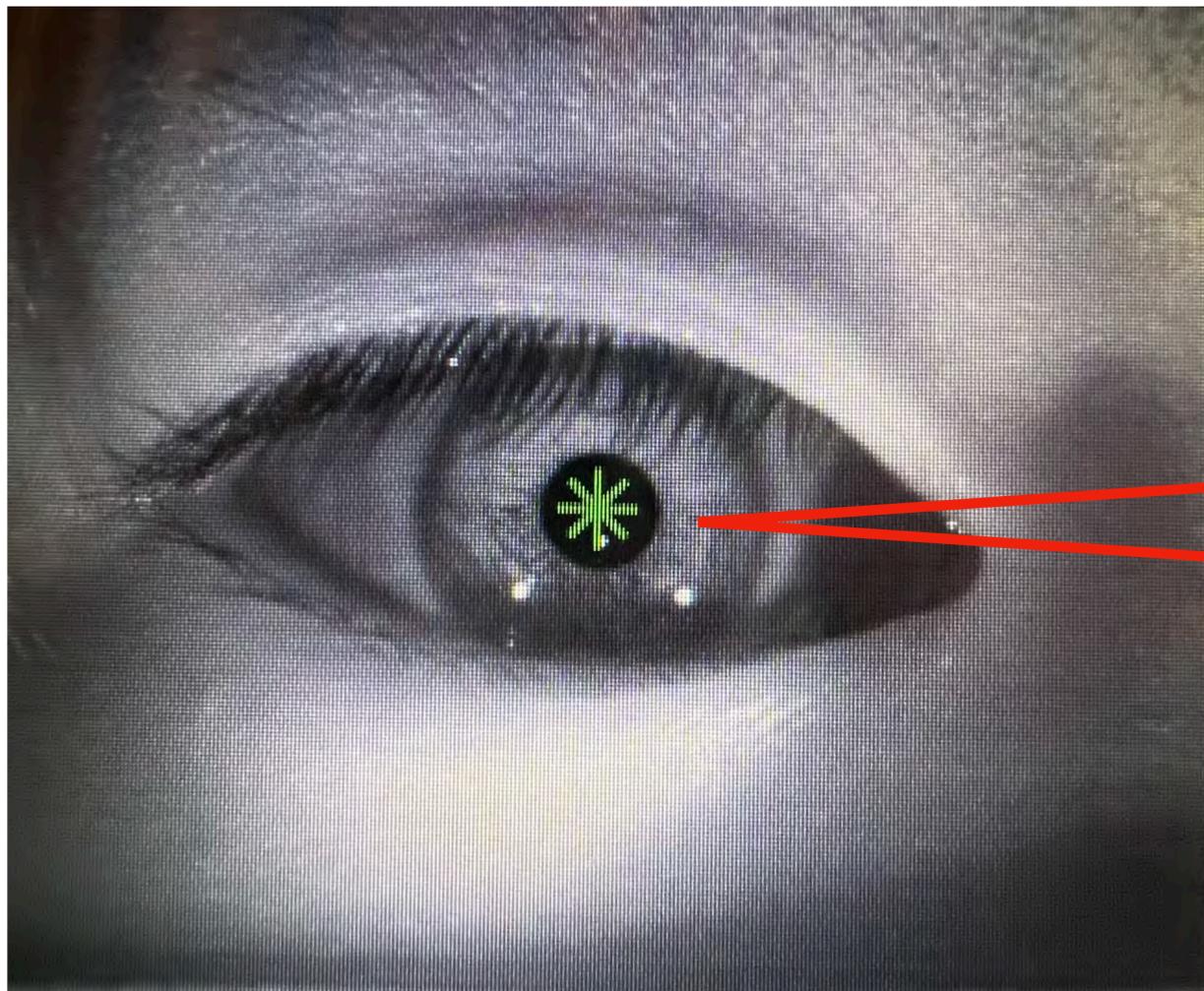
目線が動いたか確認

・ 薄かったり濃い光が次々に出てくるのでその都度ボタンを押してもらうことを伝える

・ また目線を中心のオレンジの光に戻してもらう

画面を見ながら  
目線が戻ったか確認





顎台と台の高さを合わせながら、  
米印になる位置に調整する。

・瞳孔の大きさを測るので数秒瞬き我慢してもらおう

「では、検査を開始します。」

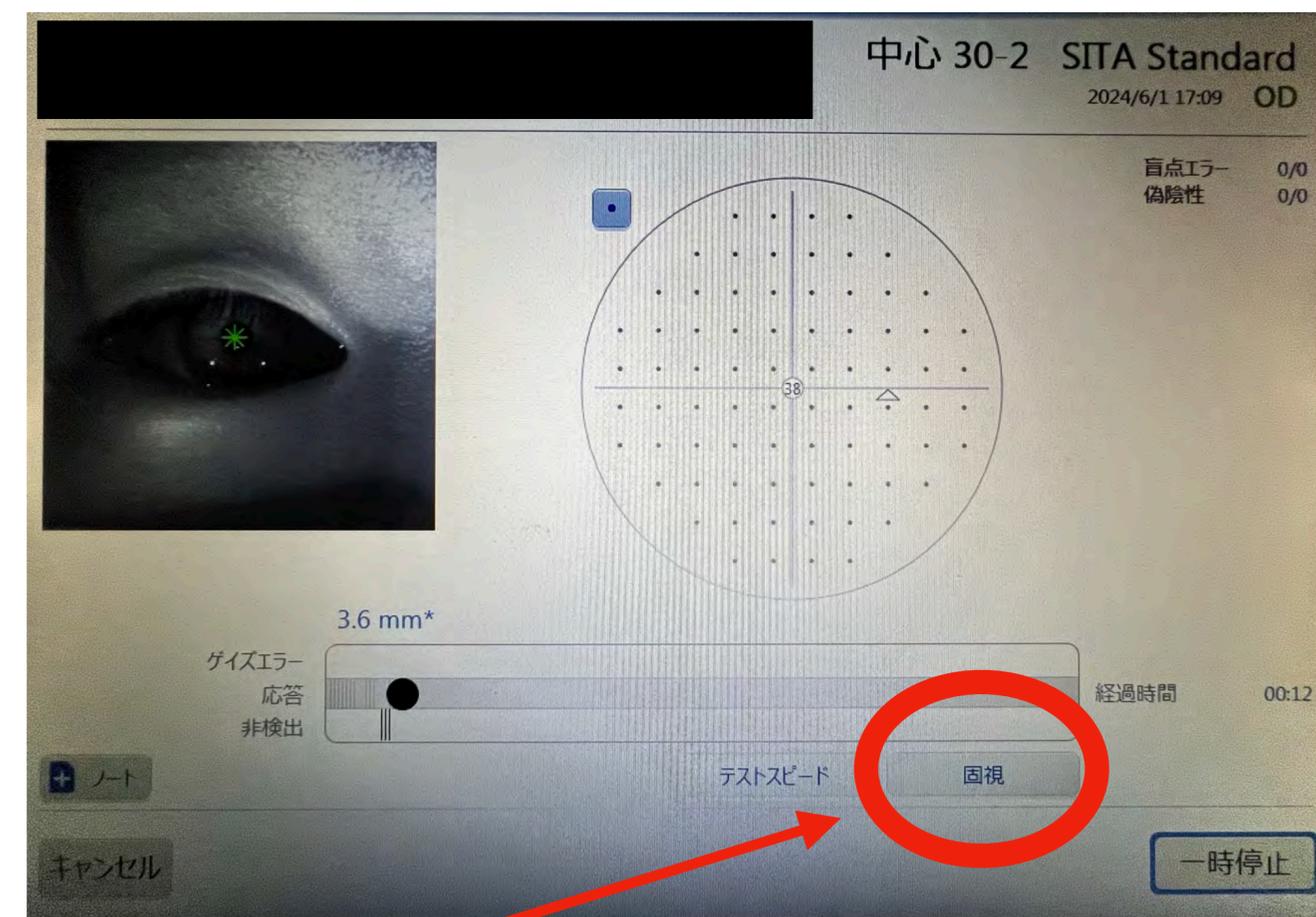
## 他眼も同様に行う

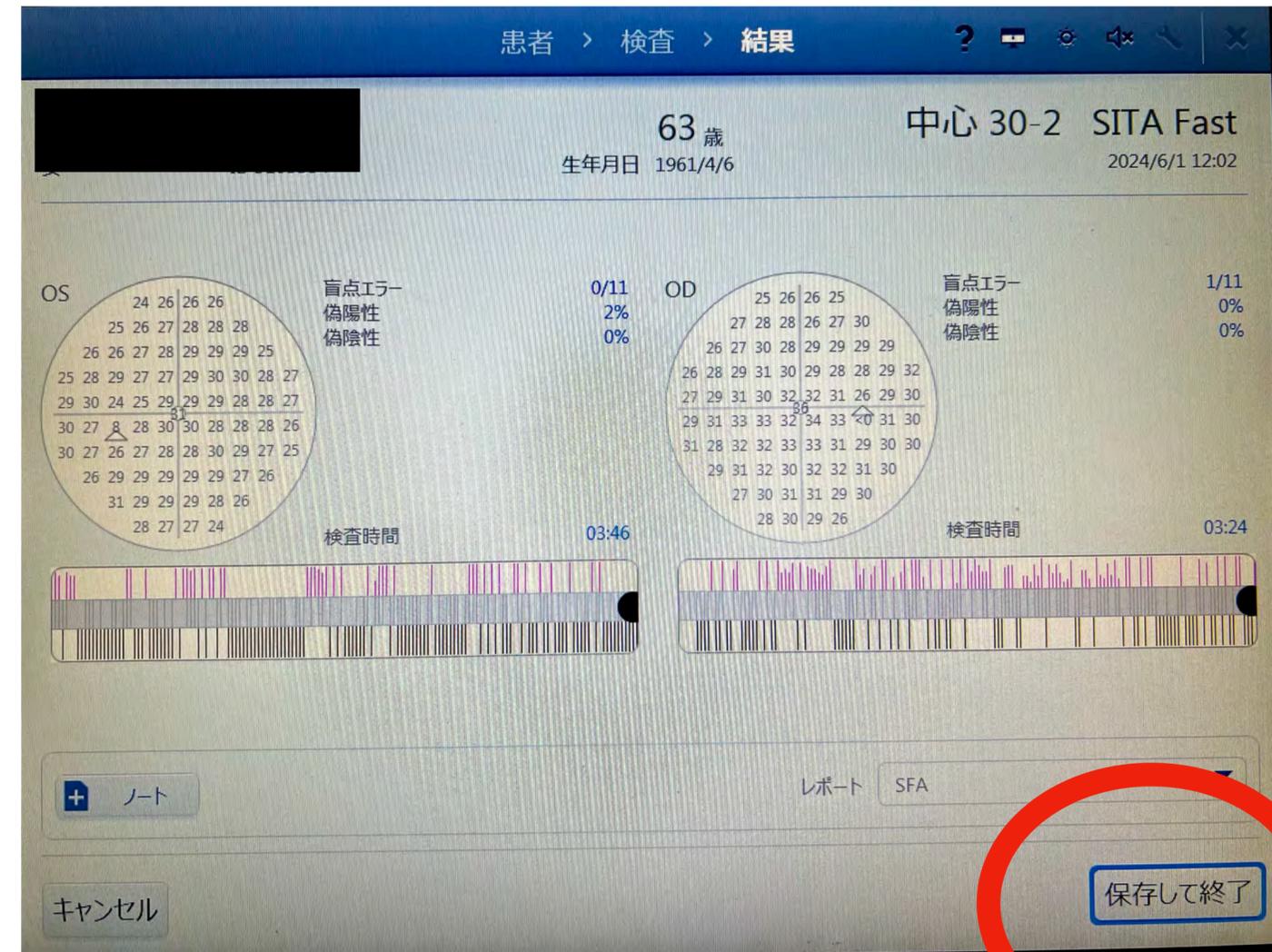
- 他眼にガーゼをかえる
- レンズを変える
- 姿勢が問題なかったか確認する
- お顔を逆側の窪みに乗せてもらう

・ 検査中は目線が動いていないか、  
おでこと顎がしっかりとのっているか  
都度確認して下さい。

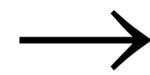
・ 正しい結果には基本の姿勢がとて  
も大切です。

・ マ盲点がうまく行かない場合は、  
検査中にマ盲点のチェックをして下  
さい。





結果を表示



保存して終了